

社会教育だより

編集・発行:相双教育事務所長 佐藤 由弘



社会教育研修会開催

8月22日に相馬市、9月4日に葛尾村で、公民館訪問を兼ねて社会教育研修会を実施しました。相馬市では「福島県地域学校活性化推進構想について」、葛尾村では「地域学校協働活動について」をテーマに研修を行いました。参加した公民館長や社会教育委員などの方々は、テーマについての理解を深めることができました。

また、6月5日に双葉町、6月11日に楡葉町、6月27日に富岡町で公民館訪問を実施しました。各公民館では、様々な課題をかかえながらも実態に即した事業を展開し、よりよい住民サービスを目指しています。



令和元年度福島県社会教育研究集会



二上氏による講演

今年度は相馬市が会場となり、県内各地から250名近くの関係者が集まり、盛大に開催されました。

初日は相馬高校相馬太鼓部のダイナミックな演奏を皮切りに、開会式が行われました。その後「相馬野馬追の歴史と今」と題して、南相馬市博物館学芸員の二上文彦氏による基調講演が行われました。

2日目は以下の4分科会に分かれて、研究協議が行われました。

- 第1分科会 「子育て・家庭教育支援について」
- 第2分科会 「地域と学校との連携・協働について」
- 第3分科会 「地域を担う人材発掘・人材育成について」
- 第4分科会 「社会教育員の役割について」

どの分科会においても、問題提起を受けた熱い協議が行われました。私たち相双教育事務所で参加した第2・第4分科会の詳細につきましては、別紙の協議記録をご覧ください。

なお、次年度は南会津地区での開催予定となっています。



家庭教育支援者地区別研修会

9月7日に南相馬合同庁舎で、「令和元年度地域でつながる家庭教育応援事業 家庭教育応援リーダー育成事業 家庭教育支援者地区別研修会」を開催しました。この研修会は「福島県地域家庭教育推進協議会や相双ブロック会議を受け、現代的課題、県や地域の課題を把握し、地域の実態に応じた研修を行う。このことにより、家庭教育について親自身の学ぶ機会が充実するよう支援するとともに、地域で子育てをする親の支援者(家庭教育支援者)の実践力を高める。」ことを目的とし、福島県教育委員会(福島県教育庁相双教育事務所)主催で開催いたしました。



福島県CAPグループの田中氏

まず、相双教育事務所主任社会教育主事の佐藤伸洋が、「親育ち応援学習プログラム」についての行政説明を行いました。このプログラムは、福島県教育委員会のホームページ(<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/edu/sykaikyoiku12.html>)からもダウンロードすることができます。どうぞご活用ください。

その後、福島県CAPグループ(田中明子氏、芳賀茂美氏、栗村桂子氏)による「大人ワークショップ」が行われました。CAPとは「Child Assault Prevantion(子どもへの暴力抑止)」



の頭文字をとったもので、子どもたちがいじめや痴漢、誘拐、虐待、性暴力といった暴力から自分自身を守るため、人権の視点からつくられた予防教育プログラムです。今回は、「おとなワークショップ」として、CAPについての説明や、子どもワークショップの体験、子どもを援助する方法の体験を通して、学びを深めました。

午後には、桜の聖母短期大学講師の長谷川美香氏による講義・演習「家庭教育支援について、みんなで考えよう」が行われました。様々な「支援観」があるということについてのお話を聞いた後、グループに分かれ、2つの事例について支援者としてどう対応するか、演習を行いました。

参加した方々からは、以下のような感想をいただきました。

- 何かの機会にCAPの活動をお願いしたいと思いました。
- 今後支援に向けて自分を磨いていきたいと思います。
- 保護者や子どもたちの立場にもう一度立ち返って今後の指導に活かして行きたいと改めて考えることができました。
- 一人では解決の糸口が見つからなさそうなことも、いろいろな人と話しているうちに手立てが浮かんでくることを実感しました。
- “支援観=大切にすること”をもって、家庭や学校で課題を抱える子どもたちや保護者に、今後もかかわっていききたいと思います。
- CAP研修は、教職員・保護者・子どもたちにも広がっていけばよいと思いました。
- 支援者として、これから子どもたちにかかわっていく中で参考にしながら頑張っていきたいと思います。

